

神戸商店グループがISO14001認証取得 デイリーヤマザキと管理の新システム推進

廃食用油の回収とリサイクルの大手業者である神戸商店グループは、昨年11月13日にISO14001を取得したが、12月15日に葛飾区の大葉会館において取引先や報道陣を招きISO認証証明書授与式と報告・懇談会を行った。

神戸商店の専務とジェーキュリアスの社長を兼務し、今回のISO14001取得を積極的に推進した神戸純氏は冒頭の挨拶で「食用廃油の回収油事業は環境問題と密接に結びついており、リサイクルを主とした循環型システムの構築に取り組んでいる。今回ISOを取得できたことは食用廃油のリサイクル事業がISOの規格に適合することが証明されたことでもあり感激している。我々の活動が循環型社会の形成に一役担えるよう努力して行きたい」と語った。

神戸商店グループは、廃食用油の回収・運搬を行う神戸商店と、主に管理部門を担当するジェーキュリアス社からなっており、関東ではマクドナルド、デイリーヤマザキ、モンテローザ、すかいらーくなど大手外食の食用廃油の回収を請け負っている。

ことに注目されるのは、ジェーキュリアスがデイリーヤマザキと進めている全国ネットの廃食用油の一元管理。デイリーヤマザキは全国に約2,000の店舗を持っているが、食用廃油が排出されるのは、そのうち1,500店程度とされている。ジェーキュリアスはこれら全国のデイリーヤマザキのうち北海道と沖縄を除く全店舗が排出する廃食用油のマニフェスト管理を一手に引き受けている。実際の回収・運搬はそれぞれ地域の回収油業者と各デイリーヤマザキの店舗が契約して委託し、回収・運搬から処理までをきちんと書類でトレースするマニフェスト管理はジェーキュリアスが一括して行う。東日本7社、西日本8社の計15社の回収業



▲ISO14001の認証取得を報告する神戸純代表

者と回収業務の委託契約をデイリーヤマザキと結び、その廃食用油のマニフェスト管理についてはジェーキュリアスが責任を負うというシステムである。

同社ではこのマニフェストの書類をデータで管理しており、何月何日にデイリーヤマザキのどの店から何トンの廃食用油が排出され、その廃食用油はどこに運ばれ、どこでどういう形に処理されたかが、コンピューターにデータとして蓄積されている。

これによってデイリーヤマザキは、いつでも店舗ごとに廃食用油関連の処理データをチェックすることが可能となり、信頼できるところに全国の管理を一括して任せられることができる。

ジェーキュリアスの特徴は、マニフェスト伝票だけの管理ではなく、グループの神戸商店で実際に収集・運搬事業も行っていることによって、よりきめ細かな、対応が可能になっていること。

環境問題や食品や飼料の安心・安全問題がより重要度を増す中で、廃食用油の回収油業界はそういった社会の要請に応えられるよう早急な近代化を進めて行かなければならない。

今回の神戸商店グループによるISO14001認証取得と、ジェーキュリアスによるマニフェスト管理の一元化の試みは注目される。